Solo 15/10

TV sound system

オーナーズガイド

安全上の留意項目

このガイドは必ずお読みください。

このオーナーズガイドに記載された内容をよくお読みください。また、必要なときにすぐご覧になれるように、大切に保管しておくことをおすすめいたします。

正三角形に矢印付き稲妻マークが入った表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。

正三角形に感嘆符が入った表示は、製品本体にも表示されている通り、このオーナーズガイドの中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることをお客様に注意喚起するものです。

警告:

- 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- 水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。他の電気製品と同様、システム内に液体が侵入しないように注意してください。液体が侵入すると、故障や火災の原因となることがあります。

- **Solo 10 リモコン:**

  警告: 電池を飲み込まないでください。化学薬品によるやけどを負う恐れがあります。
  この製品に付属のリモコンにはボタン電池が使用されています。ボタン電池を飲み込むと、体内で2時間以内に深刻なやけどを負って生命を脅かす恐れがあります。電池はお子様の手の届かないところに保管してください。バッテリーカバーがきちんと閉まらない場合は、リモコンの使用をやめてお子様の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込んだり、身体の中に入ってしまったと思ったら、すぐに医師の診断を受けてください。リモコンの電池を誤って取り扱ったり、誤って交換した場合、破裂や火災、化学物質で皮膚が侵される危険性があります。また、分解や充電、焼却を行ったり、100℃以上の熱を与えないようにしてください。3Vリチウムボタン電池の CR2032またはDL2032に交換してください。使用済みの電池は速やかに処分してください。
- **Solo 15 リモコン:** バッテリーを分解したり、切断したりしないでください。バッテリーを熱源や直火にさらさないでください。直射日光のあたる場所に保管しないでください。バッテリーをショートさせないでください。箱や引き出しの中など、バッテリー同士や他の物との間でショートする危険性がある場所に、バッテリーを保管しないでください。バッテリーは、使用するまで元のパッケージに保管してください。バッテリーに衝撃を与えないでください。バッテリーが液漏れしている場合は、漏れた液に触れたり、目の中に入らないようにしてください。液が体に付着した場合は水で十分に洗い流し、医師の診断を受けてください。バッテリーと機器の+極と-極の表示を参照し、正しく使用されていることを確認してください。指定されたバッテリー以外のものを製品に使用しないでください。バッテリーはお子様の手の届かないところに保管してください。バッテリーを飲み込んでしまった場合は、直ちに医師の診断を受けてください。必ず正しい種類のバッテリーをご購入ください。バッテリーは清潔で乾いた状態に保ってください。電極部分が汚れた場合は、乾いた清潔な布で拭いてください。バッテリーは使用目的に沿った方法で使用してください。使用時以外はバッテリーを機器から外してください。バッテリーを交換する場合は、単三形(IEC LR06)アルカリ乾電池のみを使用してください。
- 火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- 機器を不安定な場所に置かないでください。機器が落下して、深刻なけがや死亡事故を引き起こす危険性があります。お子様の身に起こるものを含めた多くのけがは、簡単な予防措置で防ぐことができます。
  - 機器のメーカーが推奨する設置台やスタンドを使用してください。
  - 機器をしっかりと支えることができる設置台を使用してください。
  - 設置台からはみ出した状態で機器を置かないでください。
  - 機器を食器棚や本棚などの上に設置する際は、それらの家具と機器を適切な方法で壁に固定してください。
  - 機器を設置台の上に置く場合は、機器の下に布などを敷かないでください。
  - お子様に対し、機器をいじったり設置台の上に登ったりした場合の危険について、十分にご説明ください。
- 薄型テレビや本システムの設置作業の安全性に不安がある場合は、専門の設置業者にご相談ください。
- お子様がAVモニターを押したり引いたり上に登ったりすることがないようご注意ください。モニターが転倒し、深刻なけがや死亡事故を引き起こす危険性があります。安全性および設置の安定性の向上のため、モニターに付属している転倒防止用ストラップを取り付けることをおすすめします。

安全上の留意項目

警告: この製品には磁性材料が含まれています。埋め込み型医療機器の動作に影響があるかどうかについては、医師にご相談ください。

警告: のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。

注意: 許可なく製品を改造しないでください。安全性、法令の遵守、およびシステムパフォーマンスを損なう原因となり、製品保証が無効となる場合があります。

注記:

- 万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。
- この製品は室内専用機器です。屋外、RV車内、船上などで使用するようには設計されていません。また、そのような使用環境におけるテストも行われていません。
- 製品ラベルは本体の底または裏面にあります。

使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。
焼却しないでください。

廃電池請回收

This product conforms to all applicable EU Directive requirements. The complete Declaration of Conformity can be found at www.Bose.com/compliance.

1. 本書をよくお読みください。
2. 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. すべての注意と警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布を使用し、ボーズ社の指示に従って行ってください。
7. 通気孔は塞がないでください。ボーズ社の指示に従って設置してください。
8. ラジエータ、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
10. 必ずメーカーにより指定された付属品、あるいはアクセサリーのみをご使用ください。
11. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
12. 修理が必要な際には、カスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、例えば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への落下、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、直ちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

This symbol means the product must not be discarded as household waste, and should be delivered to an appropriate collection facility for recycling. Proper disposal and recycling helps protect natural resources, human health and the environment. For more information on disposal and recycling of this product, contact your local municipality, disposal service, or the shop where you bought this product.

安全上の留意項目

注記: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, you are encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a different circuit than the one to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by Bose Corporation could void the user's authority to operate this equipment.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.
CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

Names and Contents of Toxic or Hazardous Substances or Elements						
	Toxic or Hazardous Substances and Elements					
Part Name	Lead (Pb)	Mercury (Hg)	Cadmium (Cd)	Hexavalent (CR(VI))	Polybrominated Biphenyl (PBB)	Polybrominated diphenylether (PBDE)
PCBs	X	O	O	O	O	O
Metal parts	X	O	O	O	O	O
Plastic parts	O	O	O	O	O	O
Speakers	X	O	O	O	O	O
Cables	X	O	O	O	O	O
O: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in all of the homogeneous materials for this part is below the limit requirement in SJ/T 11363-2006.						
X: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in at least one of the homogeneous materials used for this part is above the limit requirement in SJ/T 11363-2006.						

製品情報の控え

シリアル番号とモデル番号は、製品の底または裏面に記載されています。

シリアル番号:_____

モデル番号:_____

購入日:_____

このガイドとともに、ご購入時の領収証と保証書を保管することをおすすめします。

この製品はDolby Laboratoriesのライセンスに基づいて製造されています。
DolbyおよびダブルDマークはDolby Laboratoriesの登録商標です。

Blu-ray Disc™はBlu-ray Disc Association (BDA)の商標です。

©2014 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

目次

はじめに

お買い上げありがとうございます 7
内容物の確認 7

システム設定

ステップ1: システムを設置する 8
ステップ2: 使用する音声ケーブルを選択する 9
ステップ3: 音声ケーブルをテレビに接続する 10
ステップ4: 音声ケーブルをSolo systemに接続する 11
光ケーブル接続時の注意 12
ステップ5: Solo systemを電源を接続する 13
ステップ6: Solo systemの上にテレビを設置する 14
ステップ7: テレビの内蔵スピーカーをオフにする 15
ステップ8: サウンドを確認する 16
ステップ9: 低音の音量を調節する 16
別の接続方法を使用する 17
CATV/BS/CS用チューナーをシステムに接続する 17
テレビのヘッドホン出力をシステムに接続する 18
複数機器をシステムに接続する 19

操作

システム情報を確認する 20
音量を調節する 21
自動ウェイクを使用する 21
Solo 15ユニバーサルリモコンを使用する 22
Solo 15ユニバーサルリモコンをプログラムする 23
コードの確認 23
コードの入力 23
コードのテスト 23
電源ボタンをカスタマイズする 24
CATV/BS/CS用チューナーとテレビをもう一度同期する 24
外部機器を切り替える 24
音量を調節する 25

目次

機能ボタン 25
ダイアログモードを使用する 25
Solo 10 リモコンを使用する 26
Solo 15 system 用ユニバーサルリモコン (オプション) 26
他社製リモコンを使用する 26
ダイアログモードを使用する 26
故障かな？と思ったら 27

お手入れについて

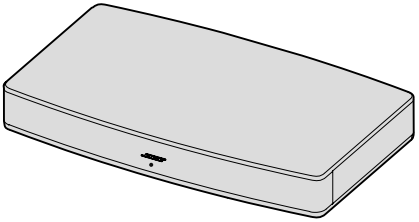
リモコンの電池を交換する 29
Solo 15 ユニバーサルリモコン 29
Solo 10 リモコン 29
お手入れについて 30
お問い合わせ先 30
保証 30
仕様 30

お買い上げありがとうございます

Bose® Solo 15/10 TV sound systemをお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品は、ほとんどの46V型テレビと多くの50V型テレビの下にすっきりと設置できるように設計された、スタイリッシュなスピーカーシステムです。テレビの内蔵スピーカーでは得られなかった、卓越した音響パフォーマンスをお楽しみください。

内容物の確認

箱の中身を取り出して、下図の付属品がすべて同梱されていることを確認してください。

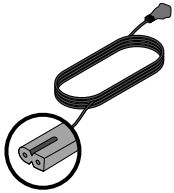


Solo 15/10 TV sound system

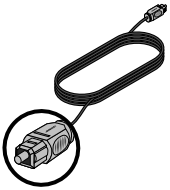
Solo 15
ユニバーサルリモコン

または

Solo 10リモコン



電源コード
(付属の電源コードは購入された国によって異なります)



光デジタル音声ケーブル

同軸デジタル音声ケーブル
(欧州のみ付属)

アナログステレオ音声ケーブル

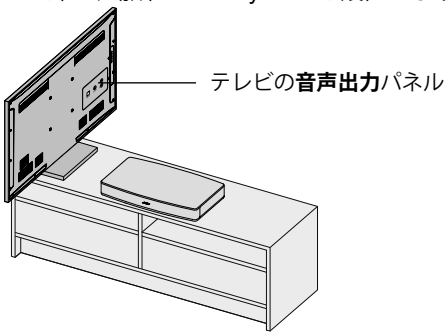
万一、開梱時に付属品の損傷や欠品などが発見された場合は、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでのご使用はお止めください。そのままでのご使用はお止めください。

箱や梱包材は、後日製品の輸送や保管が必要になった場合にお使いいただけるよう、廃棄せずに保管しておくことをおすすめします。

システム設定

ステップ1: システムを設置する

1. テレビを横にずらして、**音声出力**パネルが見えるようにして置きます。
2. テレビを置く場所にSolo systemを設置します。



設置のためのガイド:

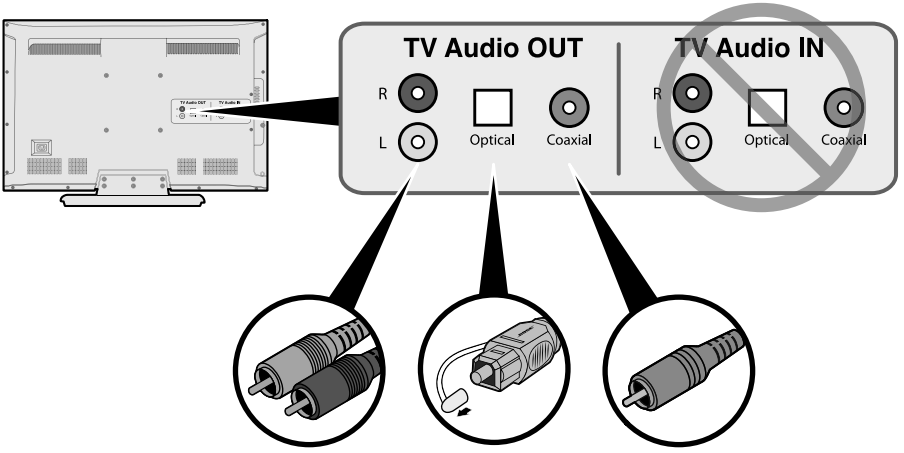
- Bose® Solo 15/10 systemの上に設置可能な薄型テレビは、質量が34 kg以下、スタンドの幅が61 cm以下、奥行きが31 cm以下のものです。
- スタンドがシステム上面の中央に来るように、テレビを設置します。システムからはみ出さないように注意してください。
- スタンドが大き過ぎてシステム上面からはみ出る場合は、システムを扉の無いテレビ台の棚などに設置してください。音声ケーブルが接続できるように、システムをテレビに近付けてください。また、テレビをシステムの上側に壁掛けして使用することもできます。
- システムをキャビネット内や棚に置く場合は、最適な音響パフォーマンスを得るために、システムの前面をできるだけ棚の前面に近付けてください。

注意:

- ブラウン管タイプのテレビを、システムの上に設置しないでください。システムは、ブラウン管テレビ用には設計されておりません(非防磁)。
- スタンドがシステムからはみ出すようにテレビを設置すると、テレビが転倒して怪我をする恐れがあります。
- システムを壁のすぐ前に設置する場合は、壁とシステム背面との間を2.5 cm以上離してください。
- いずれの設置方法においても、システム背面の通気孔を塞がないようにしてください。
- テレビに転倒防止用ストラップが付属している場合は、テレビの設置完了後に、メーカーの指示に従って確実に取り付けてください。システムの上にテレビを設置する場合は、必ず転倒防止のための措置を取ってください。転倒防止用ストラップが付属していない場合は、家電量販店などでお求めください。

ステップ2: 使用する音声ケーブルを選択する

1. テレビの背面の**音声出力**端子パネルで、音声出力端子の種類を確認します。



アナログステレオ音声出力

光デジタルまたは同軸デジタル音声接続を使用できない場合は、この接続をお使いください。

光デジタル音声出力

同軸デジタル音声接続

最適な音響パフォーマンスを得るには、上記のいずれかの接続をお使いください。

2. 音声ケーブルを選びます。

注記: Soloシステムには複数の音声ケーブルが付属している場合があります。音声ケーブルは1本だけ使用してください。ケーブルを1本選んで、残りは保管します。

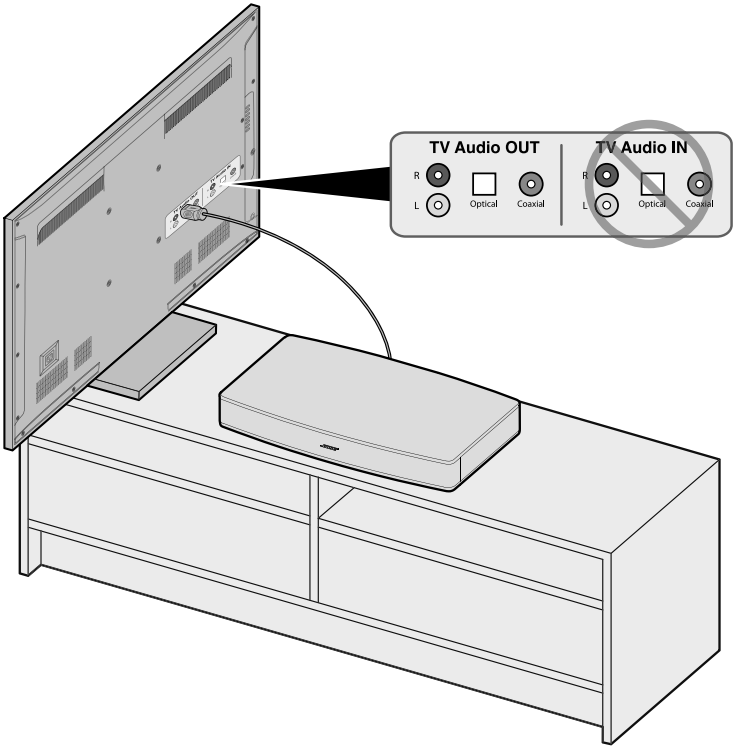
注記: 光ケーブルか同軸ケーブルを使用すると、最適な音響パフォーマンスを得ることができます。テレビに光ケーブルまたは同軸ケーブル用の出力がない場合にのみ、アナログケーブルを使用してください。

ヒント: テレビに音声出力がない場合でも、他の機器の音声出力を使用できる場合があります。Solo TV sound systemの別の接続方法については、「別の接続方法を使用する」(17ページ)をご覧ください。

ステップ3: 音声ケーブルをテレビに接続する

1. テレビの背面にある**音声出力**端子パネルを探します。
2. 使用する音声ケーブルの一端を適切な**音声出力**端子に接続します。

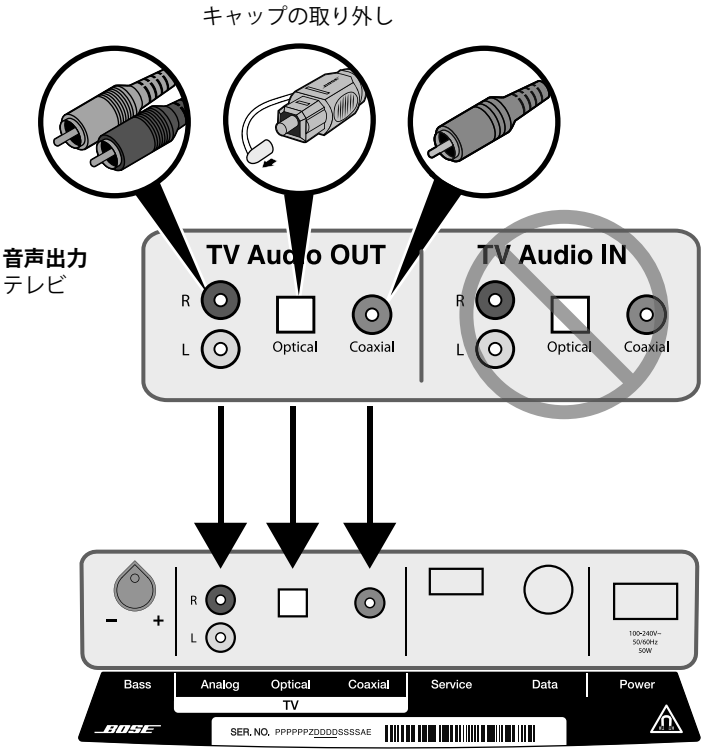
注意: 光ケーブルを使用する場合は、保護キャップを取り外し、テレビの**音声出力**端子に合わせて、正しい向きでプラグを挿し込んでください。



ステップ4: 音声ケーブルをSolo systemに接続する

音声ケーブルのもう一端のプラグを、Solo systemの対応する音声入力端子に差し込みます。

注記: 光ケーブルを使用する場合は、注意事項をお読みください。(12ページ)



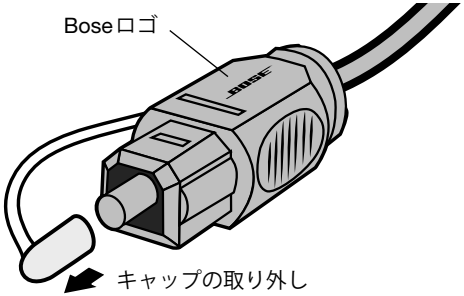
音声入力 Solo system

注記: 接続にはケーブルを1本だけ使用してください。

システム設定

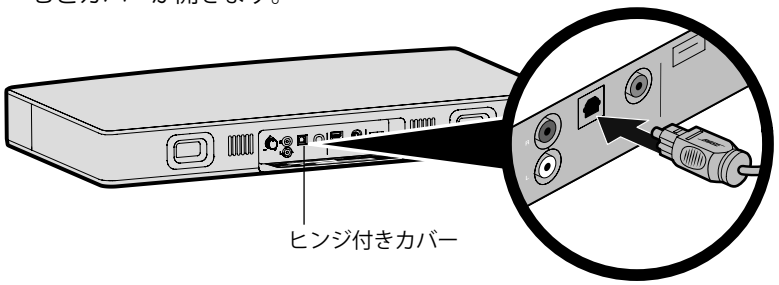
光ケーブル接続時の注意

1. 光ケーブル両端のプラグから保護キャップを取り外します。



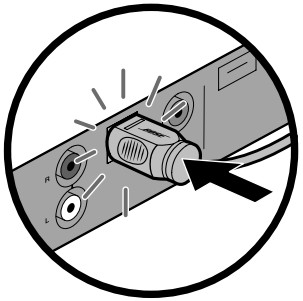
2. 図のように、Boseロゴのある側を上にしてプラグの部分を持ちます。
3. プラグの向きをサウンドバーの**光デジタル音声**端子に合わせて、慎重に差し込みます。

注記: Solo systemの**光デジタル音声**端子にはカバーが付いていて、プラグを挿し込むとカバーが開きます。



注意: プラグの向きを間違えて挿し込むと、プラグや端子が破損するおそれがあります。

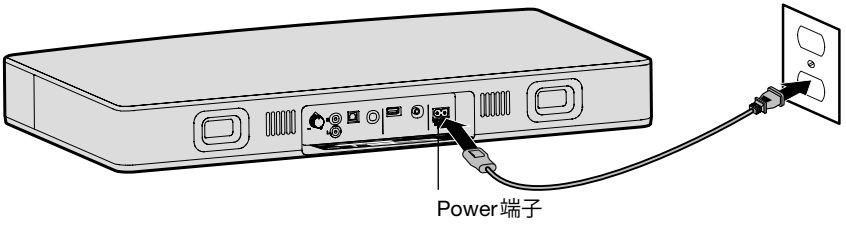
4. カチッと言う音が聞こえるか、指先に感触があるまでプラグをしっかり挿し込みます。プラグが簡単に抜けないことを確認してください。



ステップ5: Solo systemを電源を接続する

1. 電源コードの一端を**Power**端子に接続します。
2. 電源コードのもう一方をコンセントに接続します。

   しばらくすると、システムからビープ音が2回聞こえます。これでシステムを使用する準備が完了しました。

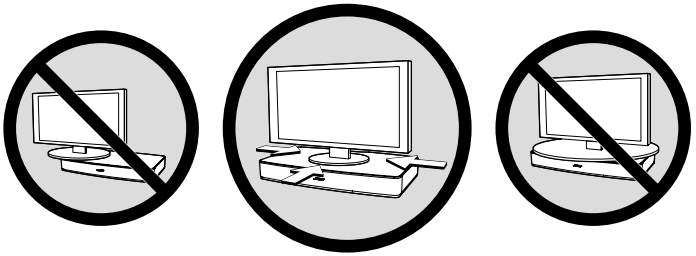


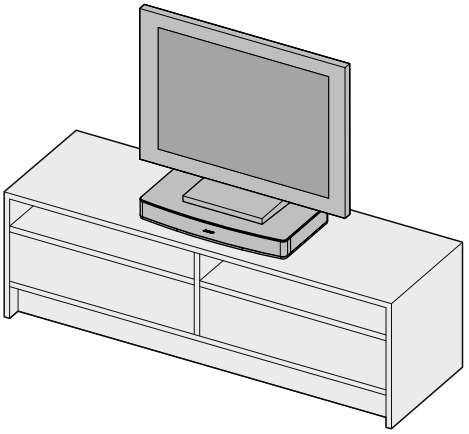
ヒント: 全ての電子機器に、安全規格認定を受けたサージプロテクターをお使いになることをおすすめいたします。電源電圧の変動や急激な上昇があると、電子機器が破損する恐れがあります。

ステップ6: Solo systemの上にテレビを設置する

スタンドがSolo systemの中央に来るようにして、テレビを設置します。「設置のためのガイド:」(8ページ)をご覧ください。

注意: 必ずテレビのスタンドがシステム上面の中央に来るように設置してください。





注意:

- ブラウン管タイプのテレビを、システムの上に設置しないでください。システムは、ブラウン管テレビ用には設計されておりません(非防磁)。
- スタンドがシステムからはみ出すようにテレビを設置すると、テレビが転倒して怪我をする恐れがあります。
- システムを壁のすぐ前に設置する場合は、壁とシステム背面との間を2.5 cm以上離してください。
- テレビに転倒防止用ストラップが付属している場合は、テレビの設置完了後に、メーカーの指示に従って確実に取り付けてください。システムの上にテレビを設置する場合は、必ず転倒防止のための措置を取ってください。転倒防止用ストラップが付属していない場合は、家電量販店などでお求めください。

ステップ7: テレビの内蔵スピーカーをオフにする

Solo TV sound systemの音響パフォーマンスを十分にお楽しみいただくためには、テレビの内蔵スピーカーをオフにする必要があります。

注記: テレビのメニュー画面の使い方については、お使いのテレビの取扱説明書を参照してください。

1. テレビの電源を入れます。
2. テレビのメニュー画面で、[**音声**]、[**サウンド**]、[**スピーカーの設定**]などを選択します。
3. テレビの内蔵スピーカーをオフにするメニュー項目を探します。このメニュー項目には、[**スピーカーのオン/オフ**]などの名前が付いています。
4. テレビのスピーカーをオフにする設定がない場合は、テレビの音量を最小にしてください。

テレビの内蔵スピーカーがオフになっていることを確認するには

1. (ミュート)ボタンを押します。
2. テレビから音が出ていないことを確認します。

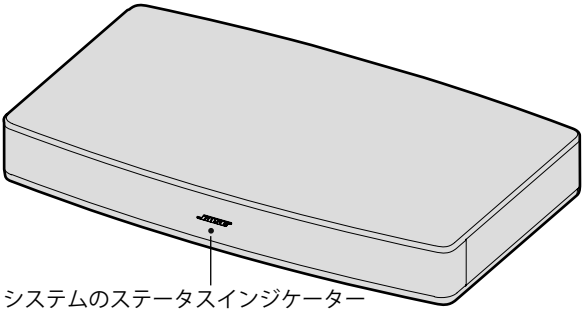
ヒント: 光デジタルケーブルを使ってテレビをSolo systemに接続した場合は、お使いのテレビの音声設定により音声出力信号が有効になっていることを確認してください。

- テレビの音声設定で、デジタル音声出力に影響するメニュー項目を探します。使用するデジタル出力の選択が必要となる場合があります。
- 光デジタルで接続する場合は、テレビのデジタル音声出力を「**PCM**」に設定してください。設定方法につきましては、テレビの取扱説明書をご参照ください。音声出力を有効にするには、これらの設定の選択が必要となる場合があります。

ステップ8: サウンドを確認する

1. テレビと必要に応じてCATV/BS/CS用チューナーの電源をオンにします。
2. Solo systemのリモコンの ⏻ を押します。

   システムのステータスインジケーターが緑またはオレンジに点灯していることを確認します。



システムのステータスインジケーター

3. Solo systemから音が出ているかどうか確認します。

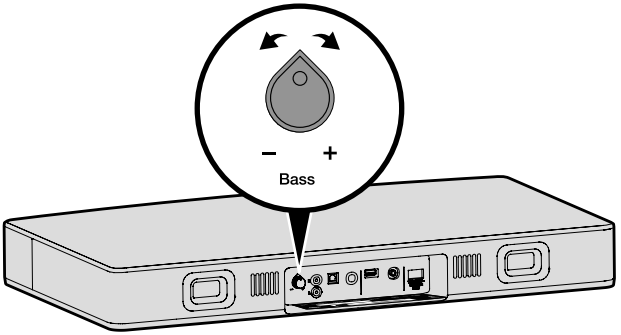
   Solo systemから音が聞こえない場合は、「故障かな？と思ったら」(27ページ)をご覧ください。

ヒント: 音声信号を受信するとSolo systemがスタンバイから電源オンするように設定することもできます。「自動ウェイクを使用する」(21ページ)をご覧ください。

ステップ9: 低音の音量を調節する

システムの裏面にある低音調節用つまみを使って、システムから出力される低音の音量を調節できます。

低音調節用つまみを右に回すと低音の音量が上がり、左に回すと低音の音量が下がります。



注記: ニュースやトークショーなどの対話やトークのみの番組の音質を最適化するには、「ダイアログモードを使用する」(25ページ)(Solo 15)または26ページ(Solo 10)を参照してください。

別の接続方法を使用する

以下のような場合は、別の接続方法をお試しください。

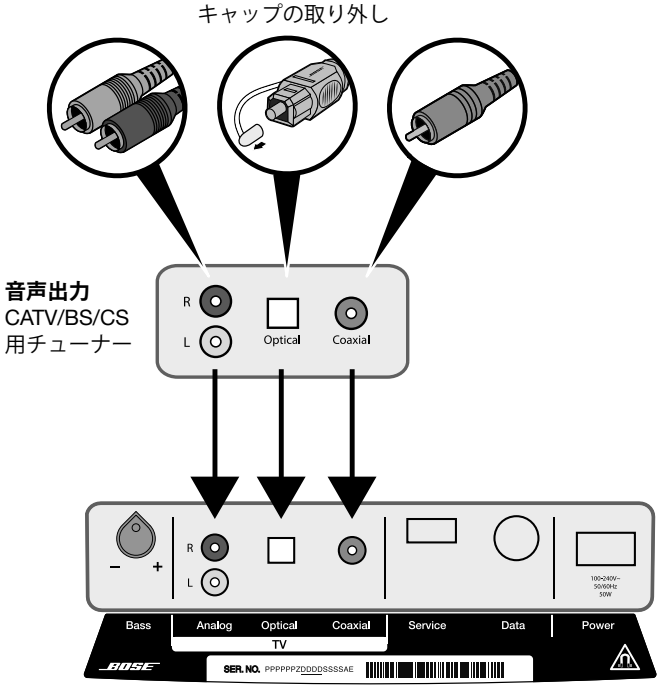
- テレビに音声出力端子がない場合や、テレビからSolo 15/10 systemに音声が送られない場合: 17 ～ 18ページの「CATV/BS/CS用チューナーをシステムに接続する」または「テレビのヘッドホン出力をシステムに接続する」を参照してください。
- テレビに接続したDVDプレーヤーの音声が聞こえない場合:「複数機器をシステムに接続する」(19ページ)をご覧ください。

CATV/BS/CS用チューナーをシステムに接続する

CATV/BS/CS用チューナーをSolo 15/10 systemに接続できます。音声ケーブルは1本だけ使用してください。

注意: 光ケーブルを使用する場合は、12ページの注意をご覧ください。

1. CATV/BS/CS用チューナーの背面にある**音声出力**端子パネルで、チューナーの音声出力の種類を確認します。



音声入力 Solo 15/10 system

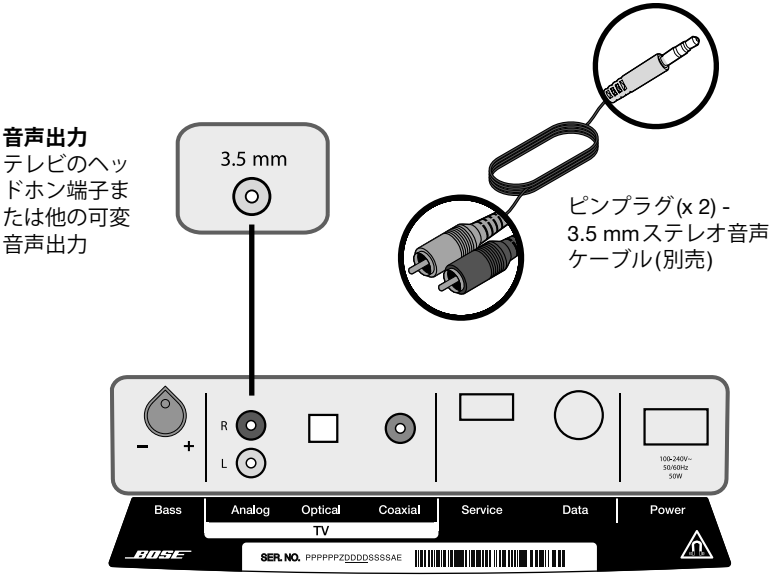
2. 音声ケーブルを選びます。
3. CATV/BS/CS用チューナーの**音声出力**端子パネルとSolo systemを音声ケーブルで接続します。

システム設定

テレビのヘッドホン出力をシステムに接続する

テレビにヘッドホン出力しかない場合、Solo 15/10 systemに接続するには、ピンプラグ(x 2) - 3.5 mmステレオ音声ケーブル(別売)が必要です。

1. テレビのヘッドホン出力端子にステレオ音声ケーブルのプラグを差し込みます。
2. 白いプラグをSolo systemの**L**側端子に接続します。
3. 赤いプラグをSolo systemの**R**側端子に接続します。
4. テレビの内蔵スピーカーがオンになっていることを確認します。詳細については、テレビの取扱説明書をご覧ください。
5. システムの音量を最適なものにするには、テレビの音量を最大の75%程度に合わせてから、リモコンでシステムの音量を調節します。



音声入力 Solo 15/10 system

複数機器をシステムに接続する

DVDプレーヤーなどの機器をテレビに接続している場合、DVDプレーヤーの音声がテレビの音声出力に送られていないことがありますが、Solo systemではこのような問題に頭を悩ませる必要はありません。Solo systemには、異なる種類の音声ケーブルを使用して最大3種類の機器を接続できます。

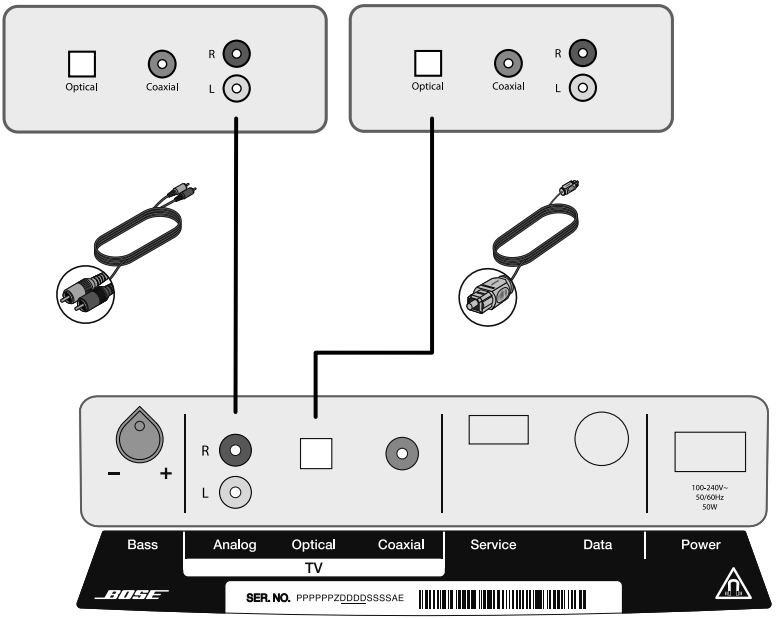
たとえば、下の図ではSolo systemにCATV/BS/CS用チューナーとDVDプレーヤーまたはゲームシステムが接続されています。

注記: ケーブルテレビ端末やBS/CSチューナーなどの電源が常にオンになっていると、この方法で接続して使用できないことがあります。Solo systemに複数の機器を接続する場合は、使用する機器のみをオンにして、他の機器はオフにしてください。

注意: 光ケーブルを使用する場合は、12ページの注意をご覧ください。

音声出力
DVDプレーヤーまたはゲーム機

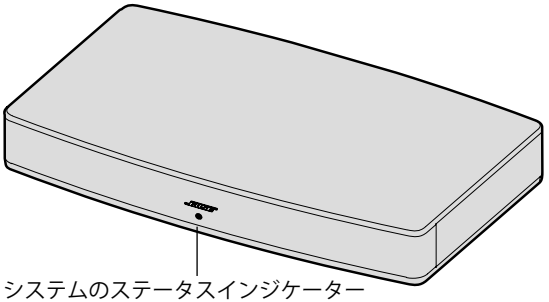
音声出力
CATV/BS/CS用チューナー



音声入力 Solo 15/10 system

システム情報を確認する

システムの操作状況は、システムステータスインジケーターの点灯状態で確認できます。



システムのステータスインジケーター

システムの状況:

インジケーターの表示	システムの状態
消灯	電源オフ(スタンバイ)
暗いオレンジ	スタンバイ、自動ウェイクが有効
緑の点灯	電源オン
緑の点滅 または オレンジの点滅 (ダイアログモードが有効な場合)	音声ミュート中
緑の速い点滅 または オレンジの速い点滅 (ダイアログモードが有効な場合)	音量調整中
オレンジの点灯	ダイアログモードが有効
赤の点灯	システムエラー (カスタマーサービスへお問い合わせください)

音量を調節する

リモコンで次のように操作します。

- ＋ボタンを押すと、音量が段階的に上がります。
- －ボタンを押すと、音量が段階的に下がります。
- ボタンを押すと、音声がミュート(一時消音)またはミュート解除されます。

注記: テレビの内蔵スピーカーがオフになっていることを確認するには、15ページをご覧ください。

自動ウェイクを使用する

Solo 15/10 systemの電源をオンにしたまま音声を再生しない状態が1時間経過すると、システムの電源は自動的にオフになります。

システムの電源をオンするには、リモコンの を押します。

音声信号を受信するたびにSolo 15/10 systemの電源がオン（自動ウェイク）するように設定できます。

自動ウェイクを有効にするには:

1. リモコンをシステムに向けます。
2. リモコンの を5秒間押し続けます。

   短いビープ音が3回(低音から高音)鳴り、システムステータスランプがオレンジ色に点滅します。

自動ウェイクを無効にするには:

1. リモコンをシステムに向けます。
2. リモコンの を5秒間押し続けます。

   短いビープ音が3回(高音から低音)鳴り、システムステータスランプが赤く点滅します。

操作

Solo 15ユニバーサルリモコンを使用する

リモコンを使用して、システムに接続した外部機器の操作、システムの音量の調節、チャンネルの変更、再生機能の操作、CATV/BS/CSチューナーの機能の有効化、システムメニューの操作などを行うことができます。

外部機器の選択

テレビに接続した機器を選択します

Bose®システムの電源をオン/オフします

選択した機器の電源をオン/オフします

ナビゲーションパッド

ビデオに録画されている番組を一覧表示します

インターネットテレビのホームページを表示します

ダイアログモード

前のチャンネル/チャプター/トラックに移動します

再生コントロール部

テレビの縦横比

文字多重放送（ヨーロッパ）

字幕表示

機能ボタン
(25ページを参照)

Solo 15ユニバーサルリモコンをプログラムする

ユニバーサルリモコンを設定して、テレビ、DVD/Blu-ray Disc™プレーヤー、CATV/BS/CS用チューナー、ゲーム機、HDDレコーダーなどを操作できます。

コードの確認

リモコンにはさまざまなメーカーのコードを設定できます。

1. 接続機器の電源をオンにします。
2. 付属の『ユニバーサルリモコン設定コード表』に、接続機器のメーカー名が記載されているか確認します。

コードの入力

リモコンの設定を行う前に、接続機器のメーカーのコード4桁を入力します。

1. リモコンの該当する接続機器ボタンを長押しして、6つの接続機器ボタンが点灯したら指を放します。

   たとえば、テレビを操作できるようにプログラムする場合は、TV ボタンを長押しします。

   該当する接続機器ボタンのみが点灯します。

2. 数字キーパッドを使って、機器のメーカーの設定コードを入力します。

   注記: 6つのボタンが3回点滅したら、入力したコードは間違っています。手順1と2をやり直してください。

コードのテスト

コードを入力したら、接続機器の基本機能をテストします。機器を操作できない場合は、設定コードを順番に試していくコードスキャナーを使用して、新しいコードを探します。

1. 音量＋ボタンを押します。
2. 接続機器の基本機能をテストします。
   - **テレビ**: チャンネルボタンを押します。MENU を押します。設定メニューが表示されます。◀ ボタンと ▶ ボタンを押して操作します。
   - **CATV/BS/CSチューナー**: GUIDE ボタンを押します。番組表が表示されます。◀ ボタンと ▶ ボタンを押して操作します。
   - **DVD/Blu-ray Disc™プレーヤー**: GUIDE ボタンを押します。設定メニューが表示されます。◀ ボタンと ▶ ボタンを押して操作します。
   - **ゲーム機**: ◀ ボタンと ▶ ボタンを押してメニューを操作します。

   注記: 接続機器の基本操作を操作できない場合は、手順1と2を繰り返します。機器のコードをすべて試し終わったら、6つのボタンが3回点滅します。
3. EXIT ボタンを押して、設定を保存して終了します。

注記: 一部の機器はユニバーサルリモコンに対応していない場合があります。詳細については、機器の取扱説明書をご覧ください。

操作

電源ボタンをカスタマイズする

リモコンの ⏻ (電源ボタン)をカスタマイズして、Solo 15 system、テレビ、CATV/BS/CS用チューナーの電源を同時にオン/オフすることができます。

1. テレビやCATV/BS/CS用チューナーを操作できるようにリモコンを設定します(23ページを参照)。
2. CBL-SAT ボタンと TV ボタンを同時に10秒間長押しします。

   両方のボタンが3回点滅します。

CATV/BS/CS用チューナーとテレビをもう一度同期する

電源ボタンをカスタマイズして使用しているときに、CATV/BS/CS用チューナーとテレビの同期が解除され、電源が同時にオン/オフできなくなる場合があります。次の手順で、システムをもう一度同期してください。

1. 同期が解除された機器に対応する接続機器ボタンを押します。
2. Source⏻ ボタンを押して、機器の電源をオン/オフします。
3. ⏻ ボタンを押します。

   機器の電源が同時にオン/オフされます。

外部機器を切り替える

操作の対象となる機器を切り替えるには、リモコンの接続機器ボタンのうち該当するものを押します。リモコンでは、選択した外部機器の操作だけでなく、Solo 15 systemのスピーカーの基本機能(オン/オフ、音量、消音)をいつでも操作できます。

注記: 操作を始める前に、機器を操作できるようにリモコンを正しく設定していることを確認してください。

1. 操作したい接続機器に対応する「接続機器ボタン(TV、CBL/SATなど)」を押します。

   接続機器ボタンが点灯します。
2. Source⏻ を押します。

   接続機器の電源がオンになります。
3. TV Input ボタンを押して、適切なテレビ入力を選択します。

   接続機器用の入力を選択するには、TV Input ボタンを何回か押す必要がある場合もあります。

   一部のテレビでは、TV Input ボタンを押すとメニューが表示されます。Solo 15 system用リモコンを使用して、適切なテレビ入力を選択し、このメニューを閉じます。

音量を調節する

リモコンで次のように操作します。

- ＋ボタンを押すと、音量が段階的に上がります。
- －ボタンを押すと、音量が段階的に下がります。
- 🔇 ボタンを押すと、音声がミュート(一時消音)またはミュート解除されます。

注記: テレビの内蔵スピーカーがオフになっていることを確認するには、15ページをご覧ください。

機能ボタン

リモコンの赤、緑、黄、青の各ボタンは、CATV/BS/CSチューナーや文字多重放送のカラーボタンの機能に対応しています。

- CATV/BS/CSチューナーの機能については、チューナーの取扱説明書をご覧ください。
- 文字多重放送では、画面のページ番号、見出し、ショートカットなど、カラーボタンで操作できる機能に対応しています。

ダイアログモードを使用する

ダイアログモードでは、サウンド設定の自動調整により、ニュースやトークショーなどの対話やトークのみの番組の音質が最適化されます。

ダイアログモードを開始するには:

1. リモコンをシステムに向けます。
2. 💬 ボタンを押します。
   システムステータスインジケーターがオレンジ色に3回点滅した後で、オレンジ色に点灯します。

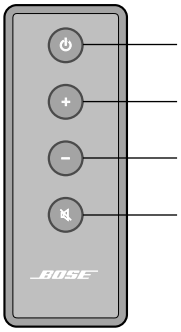
ダイアログモードを終了するには:

1. リモコンをシステムに向けます。
2. 💬 ボタンを押します。
   システムステータスインジケーターが緑色に3回点滅した後で、緑色に点灯します。

操作

Solo 10 リモコンを使用する

Solo 10 TV sound systemはリモコンを使って簡単に操作できます。リモコンをシステムに向け、ボタンを押してください。



システムをオン/オフにします
自動ウェイクを有効/無効にするにはを長押しします

システムの音量を上げます(+)

システムの音量を下げます(–)

ミュート(一時的消音)をオン/オフします
ダイアログモードを開始するには長押しします

Solo 15 system用ユニバーサルリモコン(オプション)

Solo 15 system用ユニバーサルリモコンを別途購入してご利用になれます。このリモコンは、Solo 10 systemの操作が可能で、設定によってテレビやCATV/BS/CS用チューナーなどの機器を操作することもできます。詳しくは、カスタマーサービスまたは販売店へお問い合わせください。連絡先については、日本語オーナーズガイドの「お問い合わせ先」をご覧ください。

他社製リモコンを使用する

CATV/BS/CSチューナーのリモコンなど、Boseリモコン以外のリモコンをプログラムしてシステムを操作できます。手順については、リモコンの取扱説明書や、ケーブルテレビや衛星放送のWebサイトをご覧ください。

プログラムが完了すると、電源のオン/オフや音量の調節など、基本的な機能を他社製リモコンで操作できるようになります。

ダイアログモードを使用する

ダイアログモードでは、サウンド設定の自動調整により、ニュースやトークショーなどの対話やトークのみの番組の音質が最適化されます。

ダイアログモードを開始するには:

1. リモコンをシステムに向けます。
2. ボタンを長押しします。

   システムステータスインジケーターがオレンジ色に3回点滅した後で、オレンジ色に点灯します。

ダイアログモードを終了するには:

1. リモコンをシステムに向けます。
2. ボタンを長押しします。

   システムステータスインジケーターが緑色に3回点滅した後で、緑色に点灯します。

故障かな？と思ったら

トラブル	対処方法
スタンドが大き過ぎてテレビをシステムの上に設置できない	• 扉の無いテレビ台の棚など、システムを別の場所に設置してください。 • 可能な場合は、システム上側の壁面にテレビを設置してください。
電源が入らない	• 電源コードがシステム本体に正しく接続されていることを確認してください。 • 電源コードが壁のコンセントに正しく接続されていることを確認してください。コンセントにスイッチがある場合は、スイッチがオンになっていることを電灯などで確認してください。 • システムをリセットしてください。電源コードをコンセントから抜き、1分待ってから挿し直します。システムからビープ音が2回聞こえ、電源がオンになったことを確認します。
音が出ない	• Solo systemがミュート(消音)状態でないことを確認してください。 • 音量を上げます。 • Solo systemシステムに接続されている機器のうち、使用するもの以外をすべてオフにしてください。 • 音声ケーブルがテレビの[**音声出力**]や[**Audio OUT**]などの端子に正しく接続されていることを確認します([音声入力]や[Audio IN]などは使用しません)。 • Solo system、テレビ、その他の接続機器の全てのケーブルが正しくしっかりと接続されていることを確認します。光ケーブルを使用する場合は、12ページの注意をご覧ください。 • 正しいテレビ入力が選択されていることを確認してください。 • テレビの音声出力が有効になっていることを確認します。お使いのテレビの取扱説明書を参照してください。 • システムをテレビの「可変音声出力」に接続している場合は、テレビの内蔵スピーカーがオフになっていて、テレビの音量が大きく設定されており、さらにテレビが消音状態でないことを確認してください。 • 以下のような場合は、別の接続方法をお試しください。17ページをご覧ください。 • テレビのヘッドホン出力に接続している場合は、テレビの音量を最大まで上げます。 • 機器を2台接続している場合は、光ケーブルと同軸ケーブルを使用していないことを確認します。 • システムの電源コードをコンセントから抜き、1分ほど待ちます。 • システムをリセットしてください。電源コードをコンセントから抜き、1分待ってから挿し直します。システムからビープ音が2回聞こえ、電源がオンになったことを確認します。

お手入れについて

トラブル	対処方法
リモコンが正しく機能しないことがある、またはまったく機能しない	• リモコンに電池が正しく装着されているかどうか、および交換の必要がないかどうかをご確認ください。「リモコンの電池を交換する」(29ページ)をご覧ください。 • リモコンをシステムに向けて操作ボタンを押してください。 • リモコンの音量ボタンまたはミュートボタンを押して、システムステータスインジケーターが点滅することを確認してください。 • Solo 15 system用リモコンの場合 - 操作対象の外部機器の方向にリモコンを向けて操作してください。 - 音量ボタンを押した時、選択中の外部機器のボタンが点滅することを確認します。 • システムの電源コードをコンセントから抜き、1分ほど待ちます。 • システムをリセットしてください。電源コードをコンセントから抜き、1分待ってから挿し直します。システムからビープ音が2回聞こえ、電源がオンになったことを確認します。
音声が歪む	• 音声ケーブルがシステムとテレビにしっかりと接続されていることを確認してください。 • システムをテレビの「可変音声出力」に接続している場合は、テレビの音量を小さくしてください。 • テレビを接続せずに、別の接続方法のいずれかを使用して、外部機器を直接接続してください。17ページをご覧ください。 • システムをリセットしてください。電源コードをコンセントから抜き、1分待ってから挿し直します。システムからビープ音が2回聞こえ、電源がオンになったことを確認します。
テレビから音が出る	• テレビの内蔵スピーカーをオフにしてください。 • テレビの音量を調節してください。
システムステータスインジケーターが赤くなっている	• システムエラーです。カスタマーサービスへお問い合わせください。

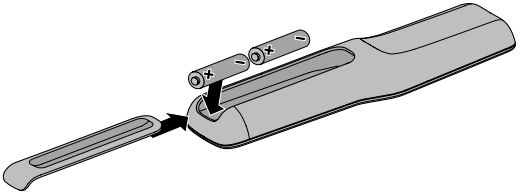
リモコンの電池を交換する

Solo 15ユニバーサルリモコン

リモコン操作ができなくなったり、操作できる距離が短くなった場合には、両方の電池を交換してください。アルカリ乾電池の使用をおすすめします。

1. リモコンの裏側にある電池カバーをスライドして開きます。
2. 2本の乾電池を取り出します。

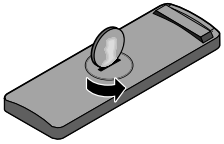
   使用済み電池の処分方法については、お住まいの地域の関連法令に従ってください。
3. 単三形アルカリ乾電池2本を入れます。電池ケースに表示されている＋と－の向きと、乾電池の＋と－の向きを正しく合わせてください。
4. 電池カバーをスライドして元に戻します。



Solo 10リモコン

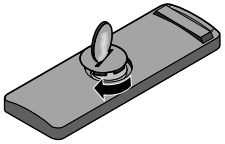
リモコン操作ができなくなったり、操作できる距離が短くなった場合には、電池を交換してください。

1. 硬貨などを使用して電池カバーを少し左に回します。



2. カバーを取り外して使用済みの電池を取り出し、＋極の表示を上に向けて新しい電池(CR2032またはDL2032)を装着します。

3. カバーを元に戻し、右に回してロックします。



お手入れについて

- スピーカーの外装は柔らかい布でから拭きしてください。
- スピーカーの近くでスプレーを使用しないでください。溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。
- 開口部に液体が入らないようにしてください。
- スピーカーグリルは特にお手入れの必要はありませんが、弱いパワーでブラシ付きの掃除機をかけてもかまいません。

お問い合わせ先

故障、修理、製品等のお問い合わせ先

ボーズ株式会社　カスタマーサービス
お客様専用ナビダイヤル　0570-080-021

修理品のお送り先

ボーズ株式会社　サービスセンター
〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル
※修理品をご送付いただく際の電話番号は、上記ナビダイヤルをご記入ください

保証

保証の内容および条件につきましては、付属の保証書をご覧ください。製品のご登録をお願いいたします。登録は、http://global.Bose.com/registerから簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

仕様

電源定格

100V～ 50/60 Hz 50W

外形寸法

62.8 cm (W) x 35.6 cm (D) x 7.6 cm (H)

質量(本体のみ)

約 6 kg

BOSE®

Better sound through research®

©2014 Bose Corporation, The Mountain,
Framingham, MA 01701-9168 USA
AM717644 Rev. 01